

## 1. まぼろしの国を求めて

歴史に詳しくない日本人でも卑弥呼という名前を知らない日本人はいないだろう。卑弥呼とは3世紀の日本列島にあった邪馬台国という国の女王で、中国の文献「魏志倭人伝」に登場する人物である。「魏志倭人伝」には、「邪馬台国はもともと男性の王が治めていたが、戦争が頻繁に起こったので、卑弥呼を女王としたところ、戦争がなくなり国が治まった。卑弥呼は鬼道を使って、30もの国々を治めていた」と記録されている。鬼道に関しては、色々な意見があるが、一般的には卑弥呼は巫女でシャーマニズム的な呪術を使った占いなどをしていたのではないかと考えられている。卑弥呼は建物の奥に閉じこもったきりで外に出ることはなく、弟だけが身の回りの世話をし、他の人の前にはほとんど姿を見せなかったと言われている。卑弥呼が治めた邪馬台国までの道のりは「魏志倭人伝」に書かれているが、**その解釈\***を巡っては意見が分かれ、現在でも邪馬台国の場所は確定されておらず、古代史の中の最大の謎と呼ばれている。

この邪馬台国の謎に取りつかれた人物はたくさんいるが、その中の一人に宮崎康平という人がいる。宮崎ははじめ鉄道会社に勤めていたが、過労のために両目を失明してしまう。失明を契機にして鉄道会社を退職した宮崎は、興味を持っていた邪馬台国の研究に情熱をかけるようになる。邪馬台国の場所を特定するために、宮崎は妻と一緒に白い杖にすがりながら、自分の足で「魏志倭人伝」に書かれた道りを歩いてまぼろしの国を探し求めた。その調査記録と結果をまとめたものを「まぼろしの邪馬台国」として出版すると、これまで学者しか興味を持たなかった邪馬台国論争が一般の人にもまで広がり、古代史ブームが起こったと言われている。

宮崎は自身が行った調査の結果、邪馬台国は九州にあったと考えるようになったが、未だ邪馬台国の場所は特定されておらず、邪馬台国論争が続いている。分からないことを知りたいと思う人間の好奇心がある限り、まぼろしの国邪馬台国はこれからも私達の心を取りこにし続けるのだろう。

## 単語リスト：

邪馬台国（やまたいこく）Vương quốc Yamatai  
卑弥呼（ひみこ）Nữ hoàng Himiko cai trị Vương quốc Yamatai  
鬼道（きどう）Con đường ma quỷ  
頻繁（ひんぱん）Thường xuyên diễn ra, tấp nập  
記録（きろく）Được ghi nhận, kỷ lục  
シャーマニズム Shaman giáo  
解釈（かいしゃく）Giải thích, diễn dịch  
古代史（こだいし）Lịch sử cổ đại

宮崎康平（みやざきこうへい）Tác giả, nhà nghiên cứu lịch sử cổ đại (1917-1980)  
失明（しつめい）Sự mất thị lực, bị mù  
鉄道会社（てつどうかいしゃ）Công ty đường sắt  
契機（けいき）Thời cơ, cơ hội  
退職した（たいしょくした）Nghỉ việc  
出版する（しゅっぱんする）Xuất bản  
論争（ろんそう）Cuộc tranh luận, bàn cãi  
好奇心（こうきしん）Ham hiểu biết, tìm tòi học hỏi